

様式 2

教 科
特別の教科 道徳

種 目
特別の教科 道徳

発行者
光村図書出版

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の 習得と思考力 ・判断力・表現力 の育成	・指導時期を考慮して4つの「シーズン」に分けられ、その中にテーマをもった幾つかの「ユニット」で分かれている。各「ユニット」は、関連する内容項目が有機的に結び付くような配列になっている。 ・各教材に、書く活動や話し合う活動を促す問いかけがあり、目的に応じた言語活動の充実が図れるように配慮されている。 ・各教材末の「てびき」で、自我関与する学習や問題解決的な学習につながる発問を位置付けるとともに、コラム「人と人との関係づくり」を位置付けて、道徳的行為に関する体験的な学習ができるように配慮されている。
2 主体的な態度 の育成	・いじめ問題、情報モラル、生命尊重の教材を全学年で複数取り扱い、現代の課題について多面的・多角的に考えられるように配慮されている。 ・「てびき」の「つなげよう」では、家庭や地域社会及び学校生活との関連がもてるような発問が位置付けられており、道徳で学んだことや考えたことを日常生活と結び付ける工夫がされている。
3 上記の他、学習 指導要領に示さ れた内容や内容 の取扱い、評価	・「てびき」の「つなげよう」は、他教科や学校生活との関連が図られるように工夫されている。また、巻末に「テーマ別教材一覧」を掲載し、各教材と生徒の生活・将来との関連を図る工夫がされている。 ・「てびき」の「私の気づき」に、本時学んだことを振り返られるとともに、巻末に「学びの記録」があり、シーズンごとに振り返られるなど、評価にも役立つように工夫されている。
4 「地域社会人」 の育成	・「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」に関わる教材が各学年1時間ずつ位置付けられている。また、ふるさと岐阜に関する資料は、2年生の巻末に「世界遺産」（白川郷）が取り上げられている。
5 印刷・造本	・印刷は鮮明で、文字の大きさ、字間、行間とも適切で読みやすく、写真や挿絵も効果的である。また、色覚特性や特別支援教育の観点から、ユニバーサルデザインの編集とデザインになっている。 ・各学年の巻頭に、道徳で学ぶ内容や学び方等が書かれており、道徳の学習の導入時に扱えるように配慮されている。
6 総 評	・「シーズン」や「ユニット」で生徒の発達段階や内容項目を考慮して教材を配列することにより、単位時間の学びが単独ではなく、有機的に結び付くように工夫されている。 ・全学年で現代的な課題を複数取り扱うことで、各課題について多面的・多角的に考えるとともに、家庭や日常生活とのつながりをもつ発問によって道徳的実践の日常化を図れるように工夫されている。 ・各教材末の「てびき」の「私の気づき」に単位時間の振り返りを書くことで学びを蓄積するとともに、巻末の「学びの記録」でシーズンごとに道徳の学習を振り返り、生徒が自己評価できるように配慮されている。